

標準寒天培地*For microbiological control only***PLATE COUNT AGAR**

食品中の菌数測定 (30°C)

用途

標準寒天培地は、ヒトおよび動物用の食品中に存在する、30°C・好気条件下で発育する微生物（細菌、酵母、カビ）の菌数測定に使用します。

本培地は NF EN ISO4833 (1) に準拠しています。

原理

本培地は、30°C・好気条件下で発育する栄養要求性の厳しくないほぼ全ての微生物の培養および菌数測定に特に適しています。

キット構成**調製済み培地**

REF AEB520710	平板培地	2 袋 × 10 枚 (90mm)
REF AEB620707	ボトル培地	6 本 × 200mL

組成**理論値**

性能を確保するため、若干変更される場合があります。

カゼインペプトン(ウシ)	5.0 g
酵母エキス	2.5 g
ブドウ糖	1.0 g
寒天	15.0 g
精製水	1 L
pH 7.0 ± 0.2 (25°C)	

必要な試薬

- ペプトン水(MRD) (Ref. AEB111499)

必要な器材

- ふ卵器

使用上の注意

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者のみご使用下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性的な病原体がないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分ご注意の上お取り扱い下さい（摂取または吸入しないで下さい）。
- 全ての検体、培地、そして検体を接種した製品は伝染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。**安全ガイドライン**: CLSI® M-29A, «Protection of Laboratory Workers from Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline – Current Revision» **操作留意事項**: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories – CDC/NIH – Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 使用期限切れの製品は使用しないで下さい。
- 破損した製品は使用しないでください。
- コンタミしている培地、過剰水のある培地は使用しないでください。

- ご使用前に、フタに破損がないことをご確認ください。
- 本培地は当添付文書に記載している手順に従って使用して下さい。手順を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

貯蔵条件

- 箱に入れた状態で、2～25°C下で使用期限まで保管可能です。

検体

最新の標準法に従い、検体の収集・調製を実施して下さい。

使用法**平板培地:**

- 製品を室温に戻します。
- 原液あるいは希釈液 0.1mL を平板培地の表面に接種します。
- できるだけ素早く塗布します。
- フタを下にして、30°C で 72 時間培養します。

注意:

- 自動接種装置を使用される場合は、その装置の取扱説明書に従ってください。
- 接種方法はいわゆる通常の方法です。

ボトル培地:**培地の調製:**

- ボトルのキャップを緩めます。
- 約 50°C にセットしたウォーターバスにボトルを移し、100°C まで加熱して培地を溶解します（約 20 分）。
- キャップを締めなおし培地を攪拌します（やけど防止の為手袋をご使用下さい）。
- 15 秒以上室温に放置した後、47 ± 2°C にセットしたウォーターバスにボトルを移します。使用するまでこの温度に保温します。

接種および培養:

- 原液あるいは希釈液を滅菌済みシャーレ 2 枚の底にそれぞれ 1mL ずつ接種します。
- 約 15mL の培地をシャーレに分注します。
- 慎重に攪拌します。
- 水平な場所に放置し、培地を固めます。
- 培地を 4～5mL 重層し、固めます。
- フタを下にして、30°C で 72 時間培養します。

判定

- 培養後微生物の発育を確認します。
- コロニー数を数えます。15～300 のコロニーを有するシャーレの結果を採用します。

品質管理

本培地は厳格な品質への要望を満たすよう開発・製造されています。

各ロットの品質管理における菌株試験結果は試験成績書に記載されています(ご要望により提供致します)。

留意事項

- 増殖の度合いは微生物各個体の要求性に左右されます。従って、特殊な要求性(栄養基質、温度等)を有する菌株は発育しないことがあります。

廃棄処理

未処理の試薬は通常の化学物質廃棄物の処理手順に従って処分してください。

使用済み試薬および他の汚染廃棄物は全て、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱方法に従って行ってください。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄してください。

参考文献

- Microbiology of food and animal feeding stuffs. Horizontal method for the enumeration of microorganisms. Colony-count technique at 30°C. - NF EN ISOP 4833 : Mai 2003.

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CS センター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・バイオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2669(代表)

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n>回分の試験を含む
	遮光



シスメックス・バイオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号

大崎セントラルタワー8階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>

 **AES CHEMUNEX**
A bioMérieux company

Route de Dol – BP 54 35270

COMPOURG – France

RCS : Saint-Malo 331 270 678

Tél. 33(0)2 23 50 12 12

Fax. 33(0)2 23 50 12 00

www.aeschemunex.com

The logo is a registered and protected trademark of bioMérieux sa or one of its subsidiaries.